

地域再生プロジェクトの実施結果調書

実施主体 (市町村名)	奥 尻 町
----------------	-------

1 地域再生プロジェクトの実施結果（プロジェクト全体）

地域再生プロジェクト名	奥尻島発進！奥尻島地域コンテンツまるごと活用プロジェクト			実施期間	平成24年度～平成26年度	事業区分	新規・継続 3年計画のうち1年目
実施主体	市町村名：奥尻町 民間団体名：ひやま漁業協同組合青年部奥尻支部、新函館農業協同組合奥尻事業所						計 1 市町村 2 団体
格差の分野	地域経済の格差						
地域再生プロジェクトの目標	<p>（地域の現状・課題）</p> <p>奥尻町の主要産業のひとつである観光は平成15年度をピークに減少傾向にあり、この間「奥尻島観光客倍増プロジェクト」（19～23年度）や「奥尻航路活性化プロジェクト」（22～24年度）として官民または他地域と連携し、地域の課題解決に向け取り組みを行っている。しかし、長引く景気低迷と昨年発生した東日本大震災等の影響によって観光入込客数は一層の減少傾向にある。このような中、奥尻町は平成5年の北海道南西沖地震の発生に伴う大津波を経験し甚大な被害を受けた中で震災復興を遂げたことから全国的に防災対策に対する注目を得ることとなった。</p> <p>（プロジェクトの目標）</p> <p>これまで展開した各プロジェクトを活かしつつ、時代の注目度に合った防災や環境、食などに特化した事業を展開し、観光入込客数年積上げ5%（概ね5年後対比20%）の増加と島内産業の人材の育成や確保、定住化の促進により人口減少率を三割程度の改善を目指す。また、本プロジェクトの展開によって地場産業の育成や地域経済の活性化を図りながら交流定住人口を増やし活力ある地域づくりを進める。</p>						
取組の成果	目標の達成度	設定目標（項目）	現状値 (平成23年)	支援期間終了後の成果目標 (平成27年)	左記の目標に対する現時点の達成状況（平成24年）		
		観光客数	33,307人 (前年比△7.7%)	41,000人	H24(上期)	26,312人	
		人口減少率	△2.9% (3カ年平均 △2.8%)	年 △2.0%	H23(上期)	26,364人	
	具体的な効果	<ul style="list-style-type: none"> ■時代の注目度に合った地域資源（コンテンツ）に見出しを付けて島外に発信することで、観光客ニーズに合った集客が図られた。 ■新たな産業興しにより就業機会ができることで雇用の増加が見込まれる。 ■IT企業と連携することによって「奥尻ブランド」のイメージを全国展開する道筋が得られた。 					
	計画の達成度	当該年度予定事業についてはほぼ計画どおり実施された。地域の情報を積極的に発信することや着地側としての受け入れ態勢の強化により観光客等の入込では下げ止まる傾向に見られることから、今後も尚一層の課題等を精査、改善し各種事業の取り組みを図っていく。					
住民等の評価	「島の語りべ育成事業」では広く住民への呼びかけをし事業展開に当たっての方向性の共有化を図っている。また、「奥尻島の新食発見事業」では町民参加のイベントにおいて提供する機会を設け、住民自身が奥尻島を再発見する場面により情報を共有することができている。						

プロジェクト推進上の課題・問題点	<p>(課題・問題点等)</p> <ul style="list-style-type: none">■人口減少とともに後継者となるべき人材の確保が難しく、また、限定されることから役割分担が上手くいかない。■地域資源を活用する中で、特に食関係においては総体の生産量が少なく、町全体で進めるには安定した原料等の確保が課題である。■島外へ情報発信する中で、地域資源と結びつけるための奥尻島の基本情報が不足していることが判った。また、新たな情報発信の仕方が課題。
	<p>(課題・問題点の把握、成果効果の検証、フォローアップを踏まえた今後の展開)</p> <p>今後も町及び町民、民間団体等が一体となって情報発信や人材の育成を継続的に展開し、観光客の増加や島内産業の人材の育成や確保をし、地場産業の育成や地域経済の活性化を進め、また、他の助成事業を活用しながら本プロジェクトと連動させることで事業の相乗を狙っていく。</p>

2 地域再生プロジェクトの構成事業

(1) 実施計画の達成状況等

No	事業名	事業概要	年次別実施計画		実施状況	効果・課題	今後の展開
			年次	取組内容			
1	地域の魅力まるごとブランド化推進事業	奥尻町の地域資源の魅力を広く認知するため「島」をブランドイメージとしたPRを強化する。	平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ■地域資源のPR ■島の「語り・話」の発掘・編集 	<p>「奥尻島」ブランドのイメージを確立するため農水産物や地域資源を取り入れ、地域イベント等を活用しPR展開を図った。また、島の「語り・話し」をまとめた「島だよりかるた」を制作し情報発信を行った。</p>	<p>(効果) 集客のある地域イベント等で大きなPR効果があった。また、これと違った形(かるた)で地域資源情報を提供し出すことができた。</p> <p>(課題) 集客のある地域イベントでの情報発信は本域PRと似かよるまでに時間及ぶ。</p>	<p>「奥尻島」イメージの露出をより一層高め、ブランドイメージに繋がる情報発信を展開する。また、地域資源と結びつける基本情報の発信が不足していることから、手法を変えた中でインパクトのある情報提供のあり方を検討する。</p>
			平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ■地域資源のPR ■島の「語り・話」続編の発掘・編集 			
2	島に住みたい人発見事業	ICT等を活用して地域情報を発信し「島に來たい人、住みたい人」等、定住・交流の促進を図る。	平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ICTを活用した情報発信 	<p>詳細化した地域の情報をインターネットを介して情報発信をした。また、同時にwebアンケート調査を実施し、奥尻島へのイメージ、ニーズを収集した。</p>	<p>(効果) 道内情報を専門とすることで効果的な情報発信ができた。</p> <p>(課題) 多様な意見が集約されたが対応の選別が困難。</p>	<p>情報提供の方法が変化していることから、携帯端末等を利用した地域情報のガイドシステム構築を検討する。</p>
			平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ICTを活用した情報発信 			
3	ゼロ・エミッションの島構築事業	島外からのエネルギー供給を依存している中、エネルギーセキュリティの観点から島内完結型のエネルギー需給を検討する。	平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ■木質バイオマス利活用検討 ■新エネ・再エネの導入検討 	<p>島内に多く賦存する森林資源の有効活用を図るため木質バイオマス等の導入に向けた調査・検討を行った。</p>	<p>(効果) 島内で完結するエネルギーを導入すること「エコロジーな島」としてのイメージアップに繋がる。</p> <p>(課題) 初期導入に係る費用が大きくかかる。</p>	<p>島内に賦存する多様なエネルギーの利活用のあり方を検証するとともに、エコアイランドとしての「奥尻島モデル」の構築を目指す。</p>
			平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ■木質バイオマス利活用施設の整備 			

※「地域再生プロジェクト計画書」(別記第1号様式)及び「地域再生プロジェクト調書」(別記第3号様式)の記載との整合に留意すること

No	事業名	事業概要	年次別実施計画		実施状況	効果・課題	今後の展開
			年次	取組内容			
4	津波災害情報発信事業	奥尻島の津波災害情報の発信を円滑に進めるため分散する受入れ窓口を一元化し被災地等活用者の利便性の向上を図る。	平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ■震災・津波語りべの展開 ■防災教育プログラムの受け入れ 	<p>檜山振興局が展開する「奥尻島復興ノウハウ活用・発信事業」を円滑に進めるため分散する受入れ窓口(町、町議会、観光協会等)を一元化し被災地等の活用者の利便性の向上・支援を図った。また、防災教育プログラムの受け入れを積極的に行うため学校等への周知活動を実施した。</p>	<p>(効果) 時代の注目度に合った防災等を島外に発信することで東北被災地等の需要者に対応することができた。</p> <p>(課題) 費用・経費運用の際、檜山振興局、奥尻町(議会)、観光協会等と多様に分散したことから運営が煩雑となった。</p>	<p>これまでの展開を含め受入れ窓口体制を改善し、需要者に対し柔軟に対応する。また、学校教育旅行への防災教育プログラム提供のほか、一般(社員研修など)へのプログラム提供の充実化を検討する。</p>
			平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ■震災・津波語りべの展開 ■防災教育プログラムの受け入れ 			
5	島の語りべ育成事業	専門的知見を有する講師をアドバイザーとして招聘し、展開する島の「語りべ」人材育成や新たな人材の発掘を図る。	平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ■アドバイザーの招聘 ■震災・津波語りべの育成 	<p>奥尻町(島)と精通した講師・アドバイザーを招聘し、南西沖地震体験者や地元情報通が島を語れる人材としての「島の語りべ」を育成するための研修会議を実施した。</p>	<p>(効果) 共通した島の情報や一致した認識を共有することで進むべき方向性の認識が図られた。</p> <p>(課題) 人口減少とともに後継者となるべき人員の確保が難しい。</p>	<p>限られた人員の中でも対応できるよう、町・町民・各種団体等が一体となって「奥尻島」をセールスできるような人材の育成を図っていく。</p>
			平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ■アドバイザーの招聘 ■震災・津波語りべの育成 			
6	奥尻島の新食発見事業	奥尻町に分布するいわがきや道内離島で唯一生産されている奥尻米を活かし流通戦略、安全・安心な食材を提供とブランド化による新しい産業の育成を図る。	平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ■奥尻いわがきの増殖 ■奥尻米の流通検討 	<p>いわがきの継続した増殖事業を実施し、また、奥尻米や地元産野菜類の新たな流通販路確立の研究を行った。</p>	<p>(効果) 新たな産業興しにより就業機会ができることで雇用の効果が見込まれる。</p> <p>(課題) 生産される総体量が少ないことから原料等の確保が難しい。</p>	<p>安定して原料を供給できるように生産者・利用者が情報を共有し、新たな食の提供のあり方を検討する。</p>
			平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ■奥尻いわがきの増殖 ■奥尻米の流通・販売 			

※「地域再生プロジェクト計画書」(別記第1号様式)及び「地域再生プロジェクト調書」(別記第3号様式)の記載との整合に留意すること

(2) 実績額

(単位：千円)

No	事業名 実施主体名	実施期間	年次	事業費	財 源 内 訳						交付金 充当額 (充当要望額)	
					国庫補 助金等	道補助 金 等	市町村補助等		市町村 自己財源	民間等 自己財源		その他
							補助金等	委託費				
1	地域の魅力まるごと ブランド化推進事業 ----- 奥尻町	H24 ～ H26	全体計画	6,940					6,940			5,575
			平成24年度	3,940					3,940			3,575
			平成25年度	3,000					3,000			2,000
2	島に住みたい人発見 事業 ----- 奥尻町	H24 ～ H26	全体計画	1,920					1,920			1,920
			平成24年度	920					920			920
			平成25年度	1,000					1,000			1,000
3	ゼロ・エミッション の島構築事業 ----- 奥尻町	H23 ～ H26	全体計画	6,667		3,300			3,367			0
			平成24年度	6,667		3,300			3,367			0
			平成25年度	0		0			0			0
4	津波災害情報発信事 業 ----- 奥尻町	H24 ～ H26	全体計画	7,856					7,856			6,856
			平成24年度	1,856					1,856			1,856
			平成25年度	6,000					6,000			5,000
5	島の語りべ育成事業 ----- 奥尻町	H24 ～ H26	全体計画	3,149					3,149			3,149
			平成24年度	1,149					1,149			1,149
			平成25年度	2,000					2,000			2,000
6	奥尻島の新食発見事 業 ----- ひやま漁協青年部・ 新函館農協・奥尻町	H24 ～ H26	全体計画	1,062					562	500		0
			平成24年度	62					62	0		0
			平成25年度	1,000					500	500		0
計	事業数[6]	H24 ～ H25	全体計画	27,594		3,300			23,794	500		17,500
			平成24年度	14,594		3,300			11,294	0		7,500
			平成25年度	13,000		0			12,500	500		10,000

※「地域再生プロジェクト事業予定調書」（別記第2号様式）及び「地域再生プロジェクト調書」（別記第3号様式）の記載との整合に留意すること